

平成27年3月19日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

経済建設常任委員会委員長 川俣純子

予算審査結果報告書

本委員会に平成27年3月11日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成27年3月12日（木）及び13日（金）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室
- 3 出席委員 川俣純子、小堀道和、相馬正典、佐藤昇市、高田悦男、平塚英教
- 4 説明のための出席者
農政課長 堀江豊水、商工観光課長 堀江功一、環境課長 雫友二、
都市建設課長 高田喜一郎、上下水道課長 大谷頼正、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の平成27年度那須烏山市の一般会計、特別会計及び水道事業会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計、特別会計及び水道事業会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

各課横断的なもの

- ・開発された特産品や優良な観光商品について、その魅力を十分に伝えられず、宝の持ち腐れになっているように見受けられる。このことは定住促進においても同様である。トップセールスなどにより市の持つ魅力を広く発信し、ブランド力の向上を図られたい

農政課

- ・農業は歴史的転換期であり、その支援制度も大きく変化している。しかし、担い手となる農業者に新しい制度があまり理解されていないように見受けられる。期を逃すことなく十分な周知を図るなど積極的に農業者に働きかけるとともに、制度の受け皿となり得る団体・組織の立ち上げに手厚い支援をされたい。

商工観光課

- ・空き家バンクは、十分な物件数が確保できないと効果が上がらない。しかし、市内には多くの空き家があるのに、登録数は伸び悩んでいる。仲介支援者である宅建業者等と調整し、登録のハードルを下げる努力をするとともに、市から所有者に直接登録の働きかけをするなど、制度の実効性を上げる方策を講じられたい。
- ・当市には、豊かな自然、体験型の施設、名所旧跡といった観光資源が多く存在

する。ねんりんピックで定着した「俳句のまち」のイメージも含めて、これらを有機的に繋ぐだけで優良な観光商品となると思われる。実際に値をつけPRすることは難しいが、旅行者などを巻き込み、売り込むための仕掛けを施されたい。

- ・山あげ会館改修は大きな費用を投入する目玉事業であるので、きちんとした市の考え方を示した上で、地域や各団体の代表者等から意見を聴く機会を設けられたい。ユネスコ無形文化遺産登録を使い勝手のよい機能的な新たな山あげ会館で迎えられるよう万全を期されたい。

環境課

- ・生ごみの堆肥化や分別収集などの焼却ごみの減量化は、地球環境の保全、また、増加傾向にある環境衛生費の圧縮のためには欠かすことのできない取組である。ごみ減量化キャンペーンを展開するなどし、市民の意識の高揚を図られたい。

都市建設課

- ・建設事業展開に際しては、国県の補助メニューをうまく活用し、少しでも市の財政負担を減らすよう工夫されたい。一方で地域活力を活かし、育てる「ふれあいの道づくり事業」の拡充を検討されたい。なお、道路建設事業に際しては、事前に地域住民に対し丁寧な説明をし、十分な理解を得た上で行われるよう努められたい。

上下水道課

- ・莫大な費用をかけた下水道事業であるが、烏山地区の接続率が極めて低い。「まちづくりのため」と理解と協力を得て、少しでも多くの世帯に繋ぎ込みをしていただけるよう本格的に取り組まれたい。その際、決して不利ではない受益者負担金や料金体系の仕組み、資金調達の支援制度、公共下水道のメリットなどを十分に啓発されたい。また、公共下水道が整備されていることは定住促進の観点からも大きなセールスポイントになる。現在計画区域外にある優良住宅団地を計画区域に組み入れることについて再考されたい。